

## 持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム協会

若者によるSDGs実施の推進のためのユースコンパクト発足、GDPに変わるビジョン・指標策定を中心とした政策提言、およびSDGs推進に関わる啓発活動

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

国際会議

Youth Summit参加者 **213人**

2021年度の  
加盟員増加 **120人**

今年度計画の達成度 **65%**

目標達成度 **70%**



SDGs Youth Summit 2021

### 課題

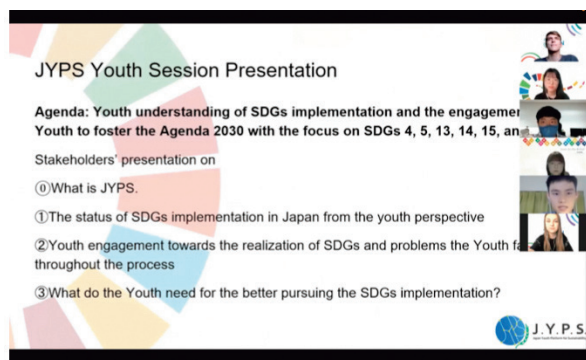
「次世代のために続く世界」の達成のために、若者が現在主流である成長中心とは異なった、GDPでは測れない価値ある社会のあり方を示すことが必要である。

### 目標

SDGsに関連する活動や問題に関心を持つ若者が自発的に集うプラットフォームとして、アドボカシー活動に取り組み、様々な分野において政策の革新の最前線にいること。

### 活動内容と成果

- HLPF2021で、ユース17人を会議に派遣した
- 日本政府のVNR（自発的国家レビュー）に対しインプットを行った
- COP 26 Japan Pavillionでの登壇を行った
- 北東アジアマルチステークホルダー会議に参加し、ユースセッションを初めて開催した
- 次世代のSDGs推進プラットフォームに参加し、若者主導の7団体で意見交換を行った
- 持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議において、若者の参加枠が設けられ、ユース世代の意見を届けることが実現した



APFSD Youth Forum



外務省地球規模課題総括課長への提言

### 全助成期間の活動を振り返って

3年間の活動を通して、2030アジェンダ、SDGsの社会的あり方や人々の関心は大きく向上した。若者の地球規模課題に対する社会構造への不信感の増大とともに、政策決定会議への参画の必要性が大きくなった。JYPSの活動を通じて、国際・国内会議での日本の若者のプレゼンスを発揮し、参画の機会を得られるようになった。しかし、未だ継続的な席の保証や若者の間で包摂的な議論ができるシステムづくりが必要である。

〒300-0311  
茨城県稲敷郡阿見町島津3-137  
E-mail: [japanyouthplatform@gmail.com](mailto:japanyouthplatform@gmail.com)  
HP: <https://www.jyps.website/>



今後の  
展望

アジェンダ21より受け継がれる若者というステークホルダーを確立するために、2023年G7の日本開催や同年の日本政府によるSDGs実施指針の改訂などの国際・国内の政策決定の枠組みに対してユースの参画を保証することはJYPSが日本で唯一の若者のプラットフォームとしての社会使命である。それらの達成のために、今後も継続的なアドボカシー活動と日本の若者に対する知識啓発活動を行っていく。